

一般貨物自動車運送業におけるその他の環境等を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	18～19	会社構内にて車輛の洗車中、足を滑らせ転倒した際に左手をつき、翌朝に左肩の痛みが大きくなり、左肩腱板剥離と診断された。	54～299	100
1	11～12	2tトラックの荷台上から降りようと左片足で着地した。その際、凍結した路面だったため転びそうになり、身体を支えるために左足を踏ん張ったが、更に左膝を地面にぶつけてしまった。	40～29	10
1	10～11	会社内の分別作業場にて作業をしようと歩いていたところ、足元が凍っていたため足をとられ、地面に背中を打ってしまい、背骨を損傷した。	61～49	30
1	9～10	路上で荷下ろしの順番待ちのため、積荷の確認をしようと運転席を降りて荷台に移動する際、凍結した路面で両足を滑らせ宙に浮いた状態になり、右の側頭部及び肩から地面に倒れて骨折した。	61～99	50
1	5～6	当社土場にてトラックに乗り込むとき、路面が凍っており足を滑らせて転倒した。転倒する瞬間に体を支えるため反射的に両手をつき、両手を負傷した。負傷当日は大した事はないと思ったが、痛みが治まらず、骨折していると分かった。	32～29	10
1	19～20	4tトラックで引き取りに行き、積み込み終了後、ゲートの上から降りる時、地面に氷の上に雪が被さっていたのに気付かずに滑り、左膝半月板を痛めた。	42～99	50
1	8～9	ゴミ収集の為、敷地内のゴミ収集所に向かおうと産廃車から降車して同敷地内を歩行中、凍結していた路面上で足を滑らせ左向きに転倒し、その後、徐々に左足が痛	47～	10

		み出してきた。事業所側の安全教育不足や、被災者自身の注意不足等が原因で事故が発生した。		29
1	19~ 20	コンビニエンスストア駐車場にトラックをとめ、店内に向かう途中で足を滑らせ転倒した。右足首付近に激痛があり、歩くことも困難になり、右足首の骨折が判明した。事故当時は駐車場内が全面凍結しており、滑りやすい状況であった。	44	10 ~ 29
1	10~ 11	作業中強風が吹いてきたため車両後部観音扉を閉めようとした際、突風にあおられ数メートル飛ばされ転倒してしまい、肘・右足・顎をアスファルトに打ちつけてしまった。	58	30 ~ 49
1	10~ 11	得意先にて集荷作業のため歩行中、雪により足場が悪く、転倒した際、左手を地面についたため負傷した。	30	10 ~ 29
1	10~ 11	集配中、配達先に向かうため走って玄関まで行こうとしたところ、玄関スロープ付近が凍っていたが雪が積もっていたこともあり気付かず通ろうとした際に滑ってしまい、右足首をひねり骨折した。	48	30 ~ 49
1	2~3	点呼を受ける為、自家用車から事務所へ向かう途中、凍結した路面で足を滑らせ転倒し、右腕を骨折した。	56	10 ~ 29
1	5~6	構内のスタンドに給油のため接車する際、運転席より下車し、最初の一步を踏み出した際に地面が凍結していたため、滑って臀部をつき、その反動で仰向けに転倒し、後頭部を強打してしまう。自力で事務所まで戻って来て様子を見ていたが、手先の痺れが全く取れなかった為、救急搬送となる。早朝の気温低下による地面の凍結を予測した慎重な行動が出来ていなかった為に起こったと思われる。	61	50 ~ 99
2	17~18	会社敷地内の駐車場で作業を終え、自家用車に戻る途中に凍結していた氷に足を取られ、後頭部より転倒し、打撲傷を負い、脳挫傷、頭骨骨折で、一週間位経過を視るとのことである。	62	50 ~ 99
2	16~17	被災者は、集荷業務を終え運転席に戻ろうとした際に、雪が積もっていたにもかかわらず滑りやすい路面を想定しないまま足を滑らせ、転倒する。その際、手をつ	50	50 ~

		いた時に左手首の骨を折る。		99
2	9~10	箱車のあおりを横に倒し、その上で作業をしている際に、雪で滑って転倒し、右膝下部を打った。	55	50 ~ 99
2	20~21	夜間配達中、配達先の住宅入口手前の歩道が凍結している事に気付かず足を取られ右側胸部を下に転倒し肋骨2本を骨折したものである。	51	50 ~ 99
2	13~14	陸送車引取の為、伺った支社様の構内通路において雪に足を滑らせ転倒してしまい、左足親指付根部を骨折した。	61	—
3	8~9	市場にてトラックから牛を降し、ロープをかけて繋留場のバーにつないでいた牛をレーンに移動させるのにロープが引っかかっていたため、外そうとしたときに牛が急に動き出し、バーと牛の間に右腕を挟まれた。	57	10 ~ 29
3	12~13	配達中、荷台の縁を掴みながら、サイドステップを使わずに後ろ向きで降車、着地した地面が溶けた氷で非常に滑りやすい状態であったため、足を滑らせ転倒し、自身の肘の上に脇腹が乗ってしまい、左肋骨を骨折した。	52	30 ~ 49
3	15~16	営業所で荷降ろす際、荷箱最後部の長尺物荷物を降ろそうとした時、天候が雨だった為、荷箱最後部の地面が少し濡れており、左足が滑り荷物を流す為のベルトコンベアの角の鉄枠で左足を打撲し、そのまま荷卸し場のホームに倒れ込んで、左足をベルトコンベアのホーム側土台に固定している鉄枠で打撲した。	25	30 ~ 49
5	13~14	家畜車で牛運搬作業中、牛舎内へ牛を引いて搬入する際、牛が転倒して作業員も引っ張られ転倒した。転倒時、左手を先に着いたため左手首を負傷した。	47	10 ~ 29
5	15~16	給食配送を終え、構内作業として土手の斜面で草刈り機を使用して草刈りをしている際、ぬかるんだ土手の斜面に足を滑らせて約1m下のアスファルトに滑り落ち、背中を打った。	70	100 ~ 299
7	7~8	取引先である牧場にて、集乳作業を行っているときに、搾乳が終了した牛が牛舎に戻る進路からそれて、作業場所で作業を行っている作業員の方に来たため作業員が	58	10 ~

		牛から逃げたが、逃げ切れず左肩にあたり受傷した。その後、治療をしたが、左肩の痛みが治らず、入院手術を行った。		29
7	19～ 20	トラックの箱の中で積込作業中に庫内の温度が-10度位の環境で床が凍っていて足を滑らせ、左足1本でこらえた状態になり、左太ももの筋肉に異常をきたす。	50	100 ～ 299
9	9～ 10	当社駐車場内の資材置き場で荷物を積み込むために、トラックの後ろ扉を開けようとしている時に突風が吹き、後ろ扉に押し飛ばされ、横に積んであったパレットに脇腹をぶつけ、負傷した。当日は打撲程度の痛みだった。	62	50 ～ 99
9	23～ 24	機械部品を配送中、尿意を催し道路脇の駐車スペースにトラックを止め暗闇の中でガートレールを乗り越え、草が生い茂っていた為に斜面が有る事に気付かず足を踏み外し、急な斜面を、3m程体の左側面を下にして、転がり落ちた。	46	50 ～ 99
9	12～ 13	荷物をお届けに行った際に、犬の散歩に行くためリールにつながれていた犬に荷物を飼い主に渡す時に、突然右手首と右足の太腿を噛みつかれて負傷したものである。	50	30 ～ 49
11	18～ 19	当社構内、駐車場にトラックを駐車させ、運転席から降車する際、左足が氷のコブの様なものに乗ってしまい、滑らせて左足を捻ってしまい骨折した。	46	50 ～ 99
11	14～ 15	当社の車庫において、トラックから降りる際、足を滑らせ右足を捻り地面に落ちた。その際骨折した。	52	10 ～ 29
11	7～8	自社の倉庫より荷物を積み込みトラックへ乗車しようと歩行中、路面に積もった雪に足を滑らせ転倒した。その際地面に頭部を強打した。	53	50 ～ 99
11	23～ 24	納品作業中の店舗で空台車を回収作業している時、突風にあおられて台車が倒れて来た為、台車が右足に接触してしまい、右親指を骨折してしまった。	47	1～ 9
12	18～19	構内において、被災者が20tの冷凍車の荷台から荷物を降ろし、作業を終えて約1.2m下の地面に降りた際に、地面の氷で足を滑らせ転倒し、その際に右肘を地面	49	10 ～

		に強打して同部を骨折した。		29
12	2~3	営業所にてカゴ台車をホームに降ろすため、トラックより降車し、後ろ扉を開けようと移動する際、暗く路面状況の判別がしにくく、アイスバーンの舗装と砂利の境目の下り傾斜で左足首をひねって転倒した。	63	10 ~ 29
12	15~16	自社倉庫内で作業を終え、トラックに戻る際、足を滑らせ転倒した。その際に左腕を床に着いた為、腕に痛みが走った。腕がしびれ痛いので念のため病院へ行きレントゲン検査の結果、骨に異常はなく筋の痛みとの事だった。	47	50 ~ 99
12	2~3	スーパーの納品口にトラックを駐車し、通用口に向かって歩道を歩いていたところ、アイスバーンに足を滑らせ転倒してしまい、左足首を骨折した。	48	10 ~ 29
12	7~8	フォークリフトのフォーク部分に乗り、70kgのステンレスの箱を引っ張っていた時に、フォークの爪の間から足を踏み外し、真下に落下した。落下した際に左手を地面についたときに手首を骨折した。	42	10 ~ 29
12	7~8	配送先の道路は狭く、前夜の雨の影響で圧雪がぬかるんでいたため、大きな通りにトラックを止め、手運び納品をした。納品が終わり車両へ戻る際、凍った轍状の路面で足が滑り後方へ転倒し後頭部を轍の氷部分へぶつけた。	40	30 ~ 49
12	19~20	マンションの配達を終え、車両停車位置まで戻る際、凍結した路面に足を滑らせ右足首を捻ったものである。	49	10 ~ 29
12	14~15	施錠をして、帰宅しようと駐車場へ歩行中、敷地凍結路面で足を滑らせ、足首を強く捻り転倒し負傷したものである。	51	50 ~ 99
12	6~7	中央卸売市場内、当社センター建物西側、積込作業用駐車場にて、トラック車両乗務席で待機中、トイレへ行こうと降車し、駐車場内を歩行中、足元が滑り、転倒した。当日は朝から雪が降り、アスファルト路面にて2~3cmの積雪があった。後ろへ倒れるように左腕から着地し、左手首を負傷した。運転業務を継続し、会社へ戻るも、痛みがひどくなり、病院で検査を受け、骨折と診断された。	44	100 ~ 299

12	7~8	荷卸先敷地内にて、荷卸し作業をする時に、自車（トレーラー）運転席から、前向きに地面へ降り立った際、両足を地面についた状態から一歩踏み出そうとしたところ、足元が凍結しており、バランスを崩して転倒した。（路面にうっすら雪が積もっており、その下がブラックアイスバンの状態であった。）左手をついて身をかばったが腰も地面に打ったと思われ（尻もちをついたような姿勢）、被災後も作業運行を継続して会社へ帰庫し、帰庫後、同日中に病院を受診した。	41	30 ~ 49
12	20~21	営業所敷地内駐車場にて、トラックから降りる際、軸足を滑らせ転倒し後頭部を強打した。気温は低くはなかったが路面の一部が凍結し足を滑らせた。	33	50 ~ 99
12	8~9	取引先で荷物を積むために事務所まで小走りしていたところ、足元の鉄板の上に雪が積もっていた為滑って転倒し、後頭部と臀部を強打した。頭は痛かったが様子をみていたところ、数日経過後に痛みが引いたので受診しなかった。数ヶ月後、足に力が入らない、意識障害など体に異変がみられ受診したところ、慢性硬膜下血腫と診断されたもの。頭部打撲はこの転倒以外にない為、被災当日に転倒し、頭部打撲したことが原因とみられる。	52	30 ~ 49
12	14~15	荷台上にて荷の積み込み作業をしていた。10t車の荷の積み込み状況を確認していた際、雪で濡れていた後方のアオリ部分に足を滑らせてたため飛び降りた。着地の際にバランスを崩し転倒し、右太もも付近と右ひじを地面に打ち、打撲した。	59	30 ~ 49
12	3~4	店に到着し、書籍4ケースを荷卸ししようとしてゆっくりと車輛から降り、後ろの観音扉のほうへ移動する際、地面が凍結のためすべり、右足を骨折したものである。融雪の水が出ており、凍結しているだろうと注意していたが滑った。夜は、店が閉まっているので、周りは真っ暗である。	55	100 ~ 299
12	0~1	給油後、SS内の洗車場で洗車の際、凍結したコンクリート地面で足を滑らせ、転倒したときに右肩を強打した。	46	10 ~ 29

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)